

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4077300194		
法人名	医療法人 聖峰会		
事業所名	グループホーム ひまわり3号館		
所在地 (電話番号)	福岡県うきは市吉井町福益121-2	(電話)	0943-76-4520
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成19年10月30日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】(19年10月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月17日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算15人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 / <u>単独</u>	新築 / 改築
建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有 (円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<u>有</u> (100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 <u>無</u>	
食材料費	朝食	400 円	昼食	450 円
	夕食	530 円	おやつ	円
	または1日当たり	1,380 円		

(4) 利用者の概要 (10月15日現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名
要介護1	10 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.6 歳	最低	74 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田主丸中央病院
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療施設を中心に多くの事業所を抱えるグループの一施設である。明るい日ざしが降り注ぐ穏やかな環境にあり、建物は趣向を凝らしたつくりとなっている。生活感のある落ち着いた雰囲気の中で、管理者も職員も認知症の対応、介護に情熱を持って取り組んでいる。今回の外部評価を機会に、管理者と職員が開設当初に持っていた理想、気概を再度認識して、新しい気持ちで細部の改善を図り、さらなる向上がなされていくことに期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の指摘に対しては全員に周知し、改善に向けて役割分担をした上で改善に取り組んでいる。まだ不十分な点もあるが、改善されたところも多く見られる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の趣旨をよく理解し、改善点をピックアップしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議については、定期的な開催が望まれる。この会議での意見や助言を活かした取り組みの実践や、地域への啓発・広報活動のさらなる充実に期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>本人の状況を個人別の書式で定期的に送付している。意見箱が玄関に備えてあるが、投函されたことはないとのことである。今後、家族の意見や不満を汲み上げるような工夫がされることを期待する。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地元の人との日常的な交流は難しい環境であるが、夏祭りなどの行事を通して交流を図ることに努めている。ホーム便りがまだ発行されていないので、地域との連携を図るという意味でも、定期発行が望まれる。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループ全体の理念に加え、より地域密着に重点を置いたグループホーム独自の理念を職員全員で作成、掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所独自の理念の共有および実践への取り組みが、全職員に徹底されていない。		理念の共有・実践に向けて、会議や朝礼で唱和する機会を設けるなど、積極的に取り組んでいくことに期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の人との日常的な交流は難しい環境であるが、夏祭りなどの行事を通して交流を図ることに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の指摘に対しては全員に周知し、改善に向けて役割分担をした上で改善に取り組んでいる。自己評価についてもその趣旨をよく理解し、改善点をピックアップしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の定期的な開催はしていないが、議事録の整理はされている。		会議の目的をはっきりさせ、協議事項の充実と定期的な開催が望まれる。会議での意見や助言を活かした取り組みの実践や地域への啓発・広報活動の充実に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険についての相談などで連携を図っているが、サービスの質の向上に向けた話し合いが行われているとは言い難い。		ホーム便りを作成し、市町村に配布するなど、今まで以上に連携を深める工夫が望まれる。
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	講演会への参加のほか、全職員での勉強会を開催している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	本人の状況は、個人別の書式で定期的を送付している。金銭については基本的に家族から預っており、その報告も併せて送付している。		領収証は個人別に整理して保管しているが、医療費控除のためにも、報告と併せて家族に送付することが望まれる。
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関のよく目立つところに設置しているが、今までに意見はないとの事である。		家族の意見や不満を汲み上げるような工夫に期待する。また、今後苦情やクレームが出たときのためにも、綴りを常備しておくことが望まれる。
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各入居者に対して担当スタッフを設定しているが、職員の異動等による影響を考慮して、日頃からどの職員も同じように関わりを持つように努めている。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用は法人本部で行われており、ホーム職員は関わっていない。採用後の上級資格の取得等には配慮し、能力が發揮できるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	定期的な研修の機会を設けている。		
13	21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は勤務を調整し、研修の機会を設けて参加への働きかけを行っている。職員も積極的に研修に参加し、その内容は他の職員へ会議等でフィードバックしている。		
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム部会へも参加し、意見交換や相互訪問などを行い、問題解決や質の向上に結び付けている。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族にも見学してもらい、場合によっては体験利用を経て納得したうえで入居を決定している。入居決定後は、実際の入居までに十分な情報収集をするなど受け入れ体制を整え、戸惑いなどが無いよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、一緒に食事をとったり、洗濯物を干したりと、どの職員も時間の許す限り、入居者と一緒に過ごそうとしており、またその時間を意義のあるものにしようという取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の話を十分に聞き、本人の意向に添うようにしている。また家族からの情報も参考にして、職員が把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員で検討し、綿密なプランを練っているが、職員側の構想が中心となっており、本人や家族の意向が十分に反映されてはいない。		本人や家族の希望や意向も十分に反映させた介護計画が望まれる。また、その協議の内容も記録に残しておくなど、さらに充実した介護計画を作成するための取り組みに期待したい。
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は基本的には3ヶ月ごとに更新、状態が変化した場合にはその都度作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の来訪、宿泊など、柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの主治医や、ホームのかかりつけ医との連携を大切にし、定期受診や往診を支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>看取りについては同意書をもっている。職員は家族とよく話し、かかりつけ医とともに職員全員で方針を共有、支援に取り組んでいる。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
23	52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉かけはやさしく慎重である。個人情報につながる書類も、所定の場所で管理している。</p>		
24	54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースと、できる限り希望に合わせた支援とを大切にしている。</p>		<p>食事中的エプロンや眠剤の服用などについては、普通の生活のためになるべく避けるような取り組みを期待する。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
25	56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備、配膳、片付けなどを一緒に行っている。楽しいひとときになるように、との意欲が窺える。</p>		
26	59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>本人の希望する時間帯や曜日、状態に合わせて入浴の支援をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、洗濯物干し、花の世話など、できる範囲でさりげなく役割を分担してもらっているが、決して無理強いではなく、それぞれの状況や気持ちに即した支援をしている。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩を中心に、その日の希望に添って日常的に外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけていない。玄関にはドアチャイムをつけており、出入りの確認ができる工夫をしている。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、定期的に勉強会などを開催、また年に2回は防火訓練を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は、個人別に把握し記録している。手作りの食事、独自の献立は申し分ない。		一日を通じての水分摂取量についても、把握・管理ができるような工夫に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感や生活感を感じられるように、職員も意識してレイアウトや飾り付けを行っている。ただ、ドアのない物置の中にさまざまな物が置いてあり、入居者が立ち入る危険性がある。		危険性を考慮して、洗剤、消臭液などは別の場所に移すなど安全な保管ができるよう、管理面の見直しが望まれる。
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド以外の鏡台、仏壇、畳など、思い思いのものを持ち込んで、本人が過ごしやすい部屋になるように工夫している。		